

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	都市形成論
科目基礎情報					
科目番号	0030		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	先端融合開発専攻		対象学年	専2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	都市計画学 変化に対応するプランニング 学芸出版社				
担当教員	鶴田 佳子				
到達目標					
現代都市の成立過程および、それと密接に関わってきた都市計画の仕組みや問題点を理解することによって、各種建造物が都市の主要な構成要素として、都市空間の中でどのような社会的意味を持つかを理解し、建設技術者として必要な社会的視野を身につける。 岐阜高専ディプロマポリシー：(D)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
現代都市が抱えている課題を理解する	都市課題とそれを解決するための考え方を正確にまとめることができる。	都市課題とそれを解決するための考え方をほぼ正確にまとめることができる。	都市問題とそれを解決するための考え方をまとめることができない。		
課題を解決するための考え方を理解する。	都市課題とそれを解決するための考え方を正確にまとめることができる。	都市課題とそれを解決するための考え方をほぼ正確にまとめることができる。	都市問題とそれを解決するための考え方をまとめることができない。		
建設技術者としての立場から、都市課題を捉え、都市問題解決に向けて自ら思考する能力を身につける。	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見を正確にまとめることができる	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見をほぼ正確にまとめることができる	都市課題解決に向けて、社会的および客観的視点から自らの意見をまとめることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	人口減少時代における都市および現行都市都市計画の課題を把握と対応策の検討を行う				
授業の進め方・方法	(事前準備の学習) 本科で学修した都市計画関連授業(地域都市計画や都市工学等)の復習をしておくことが望ましい。 授業前半は講義資料の輪読によって基礎的事項を学修し、後半は具体都市事例を対象としたワークショップ形式の討議とリフレクションに基づく講義によって行う。 英語導入計画 Technical terms				
注意点	授業の内容を確実に身につけるために、予習・復習が必須である。 調べ学習や現地調査等に能動的に取り組み姿勢が求められる。 成績評価に教室外学修の内容は含まれる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	都市計画100年の流れ	1919年旧都市計画法から現在までの都市計画制度の流れを理解する (授業外学習・事前) 教科書p25~p28を読んで質問事項をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) 旧都市計画法(1919)~現在までの都市計画制度の流れを復習しておく(2時間)	
		2週	現行の土地利用制度のおさらい	現行の日本の土地利用制度を理解する (授業外学習・事前) 教科書p36~p41を読んで質問事項をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) 現行の日本の土地利用制度について復習しておく(3時間)	
		3週	現行の都市計画マスタープラン制度のおさらい	現行の日本の都市計画マスタープラン制度を理解する (授業外学習・事前) 教科書p42~p45を読んで質問事項をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) 都市計画マスタープラン制度について復習しておく(2時間)	
		4週	人口減少時代における都市計画都市構造	人口減少時代において目指すべき都市構造について理解する。 (授業外学習・事前) 教科書p45~p46を読んで質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 人口減少時代において目指すべき都市構造について、配布プリントを復習しておく(3時間)	
		5週	人口減少時代における都市計画土地利用	人口減少時代において目指すべき都市構造を実現するための土地利用計画について理解する。 (授業外学習・事前) 教科書p46~p47を読んで質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 人口減少時代において目指すべき都市構造について、配布プリントを復習しておく(3時間)	
		6週	人口減少時代における都市計画住環境	空き家対策の先進事例を通して、課題について理解する。 (授業外学習・事前) 教科書p80~p86を読んで質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 郊外住宅団地の課題、空き家対策、地域包括ケアシステムについて復習しておく(3時間)	

4thQ	7週	人口減少時代における都市計画 交通計画	人口減少時代において目指すべき都市構造を支える交通計画について理解する。 (授業外学習・事前) 教科書p62~p67を読んで質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 人口減少時代において目指すべき都市構造を支える交通計画について復習しておく(3時間)
	8週	人口減少時代における都市計画 都市緑地計画(グリーンインフラ)	人口減少時代において目指すべき都市構造を支える都市緑地計画について理解する。 (授業外学習・事前) 教科書p119~p127を読んで質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 公園・空き地活用・グリーンインフラについて復習しておく(3時間)
	9週	事例対象都市の現地視察による地域課題に把握(ALLレベルA)	事例対象都市の地域課題について理解する。 (授業外学習・事前) 事例対象とする都市の候補を調査する(1時間) (授業外学習・事後) 事例対象都市についてインターネットを活用した調べ学習を行う(3時間)
	10週	事例対象都市の現地視察による地域課題に把握(ALLレベルA)	現地視察を通し、地域課題について更に深く理解する。 (授業外学習・事前) 現地調査に必要な情報をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) 現地調査で得た情報をまとめる(2時間)
	11週	地域課題のとりまとめ-ワークショップ形式による討議-(ALLレベルA)	WSを通し、地域課題について包括的に理解する。 (授業外学習・事前) WSの準備として調査で抽出した地域課題の内容をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) WSで得た情報をまとめる(2時間)
	12週	地域課題のとりまとめ-リフレクションによるとりまとめ-(ALLレベルB)	WSのリフレクションを通し、地域課題を整理してまとめることができる。 (授業外学習・事前) WSで取りまとめた地域課題の内容をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 地域課題解決のための対策法を調べる(3時間)
	13週	課題ごとの調べ学習(対応策の検討)(ALLレベルC)	先進事例や最新論文等による調べ学習を通し、各地域課題の対応策について検討できる。 (授業外学習・事前) 地域課題解決のための対策法に関する質問事項をまとめておく(1時間) (授業外学習・事後) 地域課題解決のための対策法をまとめる(3時間)
	14週	対応策のとりまとめ-ワークショップ形式による討議-(ALLレベルA)	WSを通し、地域課題の対応策について包括的に検討することができる。 WSを通し、地域課題について包括的に理解する。 (授業外学習・事前) WSの準備として調べ学習で抽出した対応策の内容をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) WSで得た情報をまとめる(2時間)
	15週	対応策のとりまとめ-リフレクションによるとりまとめ-(ALLレベルB)	WSのリフレクションを通し、地域課題の対応策について整理してまとめることができる。 (授業外学習・事前) WSで取りまとめた地域課題解決方策の内容をまとめておく(2時間) (授業外学習・事後) 事例対象都市の地域課題解決のための対策法をまとめる(2時間)
	16週	総括	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	4

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0